

# フロンティア Frontier-21

福井法人会青年部会会報 フロンティア21

- 第三十回「定時総会」開かれる
- 真価塾Part22
- 清酒「一本義」(株)一本義久保本店様の企業見学
- 卒業生を送る会
- 新入会員オリエンテーション
- 親子ふれあいステージ・税金クイズ
- 親睦ボウリング大会



# 第三十回「定期総会」開かれる



平成二十六年五月十六日(金)  
午後五時より、ホテルフジタ福井・  
瑞雲の間において、第三十回定期  
総会が開かれました。  
ご来賓として、福井税務署長／  
藪原孝夫様、副署長／上地啓之  
様、法人課税第一部門統括国税調  
査官／南出茂夫様、福井法人会  
長／清川忠様のご臨席を賜りま  
した。

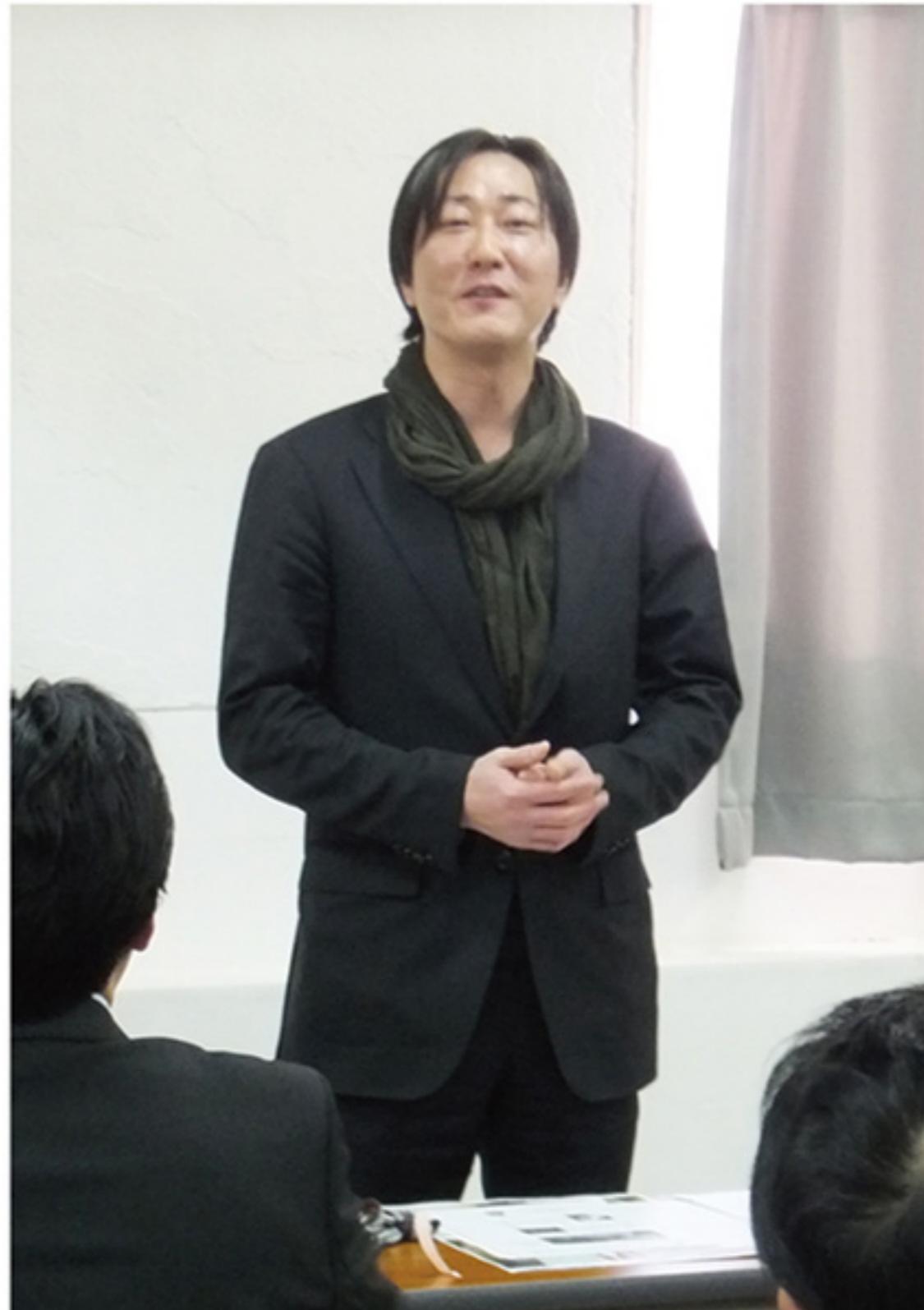
はじめに高村会長が、三十周年  
に当たる今年度の展望を、社会情  
勢と照らし合わせながら語り、会  
員皆が、改めて節目の年度に思  
い

を馳せました。  
続いて、平成二十五年度の事業  
報告、収支決算報告、平成二十六  
年度事業計画(案)、収支予算(案)  
が審議され、全て承認となりまし  
た。

総会終了後、来賓を交え懇親  
会が行われました。新会員の紹介  
・挨拶や恒例のビンゴ大会などで  
大いに盛り上がり、福井法人会青  
年部会らしい和気あいあいとした  
雰囲気の中、会員同士の親睦を  
深めました。

(松森)

## 清酒「一本義」(株)一本義久保本店様の企業見学



平成二十六年二月十八日(火)  
株式会社一本義久保本店様へ企  
業見学にお伺いさせていただき  
ました。参加人数十四名、場所  
が勝山。また試飲させていただ  
けるということで、福井駅東口  
よりバスで移動となりました。

一本義久保本店到着後、講師  
に代表取締役副社長／久保格太  
郎様より会社の歴史や日本酒に  
ついてお話をいただきました。

一九〇二年に創業され、当時は  
「沢の井」という名前の日本酒を  
造っていたのですが、すでに

東京で同じ名前の中のが販売さ  
れており変更することになった  
そうです。「一本義」の由来は  
、大野藩主に献上していた酒蔵  
が辞めることとなり、そこで使  
われていた「一本義」の名前を  
使わないか?と言われ、使われ  
始めたそうです。

前日行われた常陸宮杯スキー大  
会でお越しになつた常陸宮妃殿  
下は、一本義のにごり酒がお好  
きでということで、大吟醸で作  
った特別な「にごり酒」をお出  
したそうです。しかし、あか

らさまに特別感を出したくなかったため、瓶に妃殿下のお印である石楠花を印刷しお出ししたところ、お気づきになり大変お喜びになられたそうです。このお話を聞いて、こういったきめ細かいおもてなしの心が、出荷数県内NO.1を昭和初期から守り続けられておられるのだなと勉強になりました。

この後、酒造内を見学させていただきました。日本酒作りは、他の酒類と違い高度な技術を要するもので、火入れで行われる低温殺菌は、細菌学の開祖と言われるパストール発見する四〇〇年も前から行われていたとのことです。また、麹菌が酒の味を決め、酵母が香りを決めるそうです。とてもデリケートな作業が行われていました。

最後にみなさんお待ちかねの試飲が行われました。一本義赤ラベル、緑ラベルから始まり、変わったお酒では、足羽山の下で熟成された古酒やサッカーのベックカム選手が好んで飲んでいた特別な「にごり酒」をお出ししたそうです。

お酒、梅酒に唐辛子を漬け込んでお酒など色々試飲をさせて

いただきました。はじめて試飲会を体験でき、今まで以上に日本酒好きになりました。

この後八重寿しに場所を変え、懇親会が行われました。講師の久保様も駆け付けて下さり、大いに盛り上りました。

(森下)



## 卒業生を送る会



平成二十六年三月十四日(金)、  
つくも橋ピリケンにて、卒業生を  
送る会が開催されました。  
この度ご卒業される方は9名で  
す。この日は、細田前会長1名の  
ご参加だったので「細田前会長を  
送る会」と名を変え、会が進行さ  
れました。

高村会長や大谷副会長から細  
田前会長の数々の武勇伝やエピソ  
ードが飛び出し、笑いの絶えない  
会となりました。最後に、細田前  
会長より青年部会での思い出や、  
残るメンバーに向けてのメッセージ  
をお話していただきました。

卒業される皆様のますますの  
ご発展とご多幸をお祈りすると  
共に、今後とも法人会青年部会に  
ご指導、ご鞭撻を賜りますようお  
願い申し上げます。本当にありが  
とうございました。

ご卒業された方々は次の通り  
です。

☆荒木宏信	☆岩井保之
☆北野耕一	☆瀧波成嘉
☆塙谷浩一	☆出口幸宏
☆原嶋常栄	☆細田真也
☆横山剛史	

敬称略、五十音順  
(森下)

## 新入会員オリエンテーション

平成二十六年三月十四日（金）、つる橋ビルにて、新入会員オリエンテーションが行われました。新入会された4名のうち3名の方、現会員からは高村会長をはじめ10名の方、総員十三名参加頂きました。初めに高村会長から青年部会の綱領や事業目的、租税活動などの説明がありました。

その後各委員長より活動内容

の説明がありました。

続いて新入会員の皆様が自己紹介をされ、中には茶道をされておられる方など個性的なメンバーが入会されたことで、当会もますます楽しい会になるのではないかと予感させるオリエンテーションとなりました。

（森下）



## 親子ふれあいステージ・税金クイズ



高村会長のあいさつの後、青年部会が租税教育活動の一環として「親と子の税金クイズ」をおこないました。小寺委員長の司会によつて出題され、福井税務署の事務官が扮する税金博士が解答をわかりやすく説明しました。まずは子供達を対象に○×クイズを出題し、正解者約二五〇人の子供たちが、ステージに上がりました。普段なかなか考えることの少ない税金クイズに頭を悩ませておりました。また正解すると飛び跳ねて喜んでおりました。ステージ上の皆様お疲れ様でした。

平成二十六年一月十八日(土)、福井市フェニックスプラザにて「親子ふれあいステージ」を開催しました。約千三百名の小学生とその父兄らが参加して盛大に行われました。



税金クイズの後に公演された中國雑技団のアクロバットに子供達も非常に楽しく、皆さん釘づけでした。多くの元気な笑顔をたくさん見られる親子ふれあい事業となりました。

(見合)

毎年恒例！！

## 親睦ボウリング大会

平成二十六年二月二十八日(金)  
、ウェーブ40にてボウリング大会  
が開催されました。

総勢九名で団体戦・個人戦を争い  
ました。少々寂しい参加人数では  
ありましたが、各チームとも持て  
る力を存分に發揮し、すばらしい

結果(?)を残すことができました  
。(笑)

さて結果ですが、個人戦の優勝  
は、横山博氏でアベレージ134.  
0。二位が小寺信行氏、三位が北  
村秀雄氏でした。団体戦優勝は、  
北村氏チーム(北村秀雄氏、横山



博氏、井上浩一郎氏)、二位が高村  
氏チーム(高村明彦会長、春田惠  
治)、三位が川口氏チーム(川口貴  
義氏、小寺信行氏)でした。

序盤、小寺氏がノーミスで他者  
を引き離す独走状態で進みまし  
たが、一ゲーム目がまさかの失速で  
惜しくも二位となってしまいまし  
た。そこに横山氏がコンスタントに  
高得点(?)を叩き出し、見事優勝  
を勝ち取りました。なお、個人戦  
の二位から六位までは混戦で、二  
ゲーム合計の点差がそれぞれ一点  
ずつということでした。

ゲーム後の表彰式では、横山氏  
が司会を行いましたが、団体戦、個  
人戦とも優勝には、横山氏が入っ  
ており、またカラオケまで歌うとい  
うノリノリの表彰式でした。(笑)

(春田)



## 新入会員者紹介

(平成26年1月～平成26年6月入会)

■愛下浩一朗 あいした こういちろう

大同生命保険(株)  
生命保険

第二営業課長

福井市中央3・3・23  
昭和44年12月11日

(株)北陸紙業  
紙卸業

福井市問屋町1・5  
昭和51年10月4日

大同生命保険(株)  
生命保険

第一営業課長  
福井市中央3・3・23  
昭和48年12月5日

鈴木 康朗 すずき やすろう

（株）ホソダSHC  
営業技術

福井市御幸3・2・21  
昭和52年11月1日

遠藤 真樹 えんどう まさき

大同生命保険(株)  
生命保険

（五十音順）●氏名  
●役職 ●法人名  
●住所 ●業種  
●生年月日



表紙写真ロケ地  
平成26年の完成を目指している  
福井駅西口周辺地区



めざします 企業の繁栄と社会への貢献